

マガレイ

日本海海域

Pleuronectes herzensteini

地方名

あかがしら、くちぼそ、
あかがれい（陸奥湾、日本海）



生態

- ①寿命：約10年
- ②成熟：オス2歳、メス3歳以上
- ③産卵期：本県日本海では4月、陸奥湾では5月
- ④産卵場：水深15～70mの砂泥域
- ⑤分布：サハリン、千島から瀬戸内海、山陰地方にかけての沿岸域
- ⑥生態：通常は水深150m以浅の沿岸の砂域から砂泥域に生息。
食性はゴカイ、二枚貝、ヨコエビ、クモヒトデ類など。

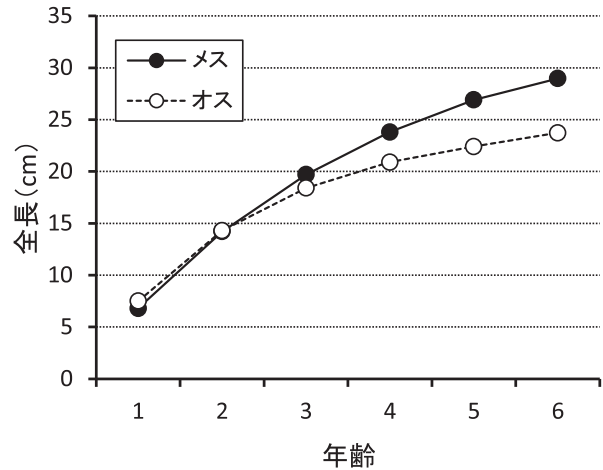


図 青森県におけるマガレイの成長

主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は1月～3月。2～3歳から漁獲する。

漁獲の動向と水準

青森県日本海側の漁獲量は、平成5年の96トンを経最高に減少し、平成13年から平成23年にかけて約30～40トンで横ばい、その後平成26年の11トンまで減少した後増加に転じが、平成29年には減少し17トンとなった。

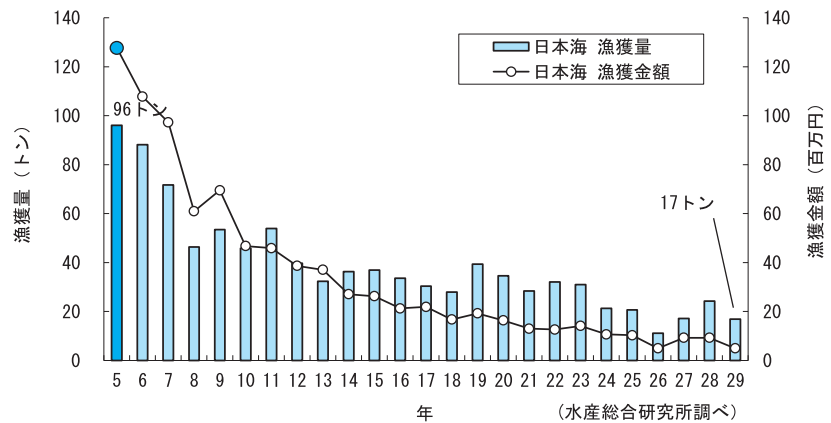


図 青森県日本海海域におけるマガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために



- 資源管理計画（平成6年3月）
 - ・かれいさし網目合規制（3.5寸以上）の徹底、三枚網及び留網禁止などを定めた。
 - 日本海北部マガレイ、ハタハタ資源回復計画（平成15年7月水産庁）
 - ・小型定置漁業（底建網漁業を含む）による全長15cm未満個体の再放流を定めた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。